

つきたい力

- ・学習の方法を考え、自分に合った学習の仕方を見つけられる力
- ・学習を自分事にして捉え、学習を進めていく力
- ・友だちの意見を受け、自分の考えを補強したり、変容させたりする力

取組みの概要・ポイント

- ・個別最適化された学びの中でも指導の個別化を重視し、授業スタイルの変容をめざした。
- ・写真や動画の撮影、NHK for School等を活用して、学習を身近に感じる機会の創出をめざした。
- ・オクリンクやスライドを活用し、協同的な学びを図ることをめざした。

具体的な取組みの内容

I) 課題解決のために、学習計画を立て、探究する授業づくり

- ①NHK for School等の動画資料等を活用し、子どもたちの「どうして?」「なぜだろう?」などの学習課題を生み出す。
- ②課題を解決するために、それぞれの得意を活かして、試行錯誤しながら学習を進めていく。(自由進度学習の土台作り)

II) Cellularモデルを活用したいいつでも、どこでも調べられる機会の創出

- ①課題解決のために、写真や動画を撮影したり、遠隔地とつないだりして学習手法の拡張をはかる。
- ②課題解決のために、家庭で写真や動画を撮影したり、発表資料を編集したりして家庭学習の拡張をはかる。

III) 調べてきたことを共有し、話し合うことで学習を深める授業づくり

- ①オクリンクで調べたことを共有し、学習を深めていく。
- ②GoogleスライドやJambordを共同で編集し、発表資料を作成し、学習を深めていく。

学校全体で取組みを進めるための情報活用能力系統表はこちらから確認できます



I) ②児童たちと立てた学習計画を使って、理科の学習を進めていく場面



II) ①地図記号の予想を確かめるために、現地に赴いて何があるか確かめている場面



III) ②自分たちの班で調べたことを共同で編集し、スライドにまとめる場面。

取組みを通しての子どもの変容

- ・授業の土台となる情報活用能力の向上を子どもたちが実感している。(アンケートの技能面を問う項目すべてで「できる」と回答した児童が9割以上)
- ・課題解決で足りないと感じた情報や資料を、家庭での時間や休憩時間等を活用して収集してくる児童が増え、学習との向き合い方に変化が生じた。